

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	広島県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	広島県（公立）	全国（公立）
		239		9,461	

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）	
			広島県（公立）	全国（公立）
	全体	36	62.1	62.2
学習指導要領の領域	数と式	12	65.8	65.9
	図形	12	67.2	67.1
	関数	8	51.3	52.0
	資料の活用	4	57.8	56.5
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な技能	19	66.8	66.9
	数量や図形などについての知識・理解	17	57.0	56.8
問題形式	選択式	13	57.4	57.8
	短答式	23	64.8	64.6
	記述式	0		

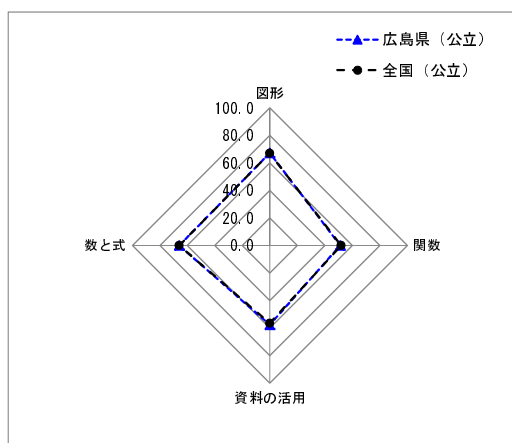
※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別市町別平均正答率一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式
1(1)	$\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算する	分数と小数の乗法の計算ができる	小6(1)イ					○*			○	
1(2)	-5, 0, 1, 2, 5, 4の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解している	1(1)ア						○	○		
1(3)	$-3 + (-7)$ を計算する	正の数と負の数の加法の計算ができる	1(1)ウ					○			○	
1(4)	今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1(1)ア,エ						○	○		
2(1)	ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaを用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	1(2)エ					○			○	
2(2)	$(2x + 5y) + 3(x - 2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1)ア					○			○	
2(3)	ある数aについて、不等式 $a > 5$ と表せる事柄を選ぶ	不等式の意味を読み取ることができる	1(2)エ					○		○		
2(4)	等式 $S = ah$ をhについて解く	具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる	2(1)ウ					○			○	
3(1)	一元一次方程式 $x + 12 = -2x$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	1(3)ウ					○			○	
3(2)	一元一次方程式 $2x = x + 3$ の解について、正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	1(3)ア						○	○		
3(3)	縦と横の長さの比が5:8の長方形の看板について、縦の長さが4.5cmのときの横の長さx cmを決めるための比例式をつくる	具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることができる	1(3)ウ					○			○	
3(4)	方程式 $2x + y = x - y = 3$ から、xとyの値を求めるための連立方程式を完成させる	2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことができる	2(2)イ,ウ					○			○	
4(1)	与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ	垂線の作図の方法について理解している	1(1)ア						○	○		
4(2)	△ABCを、直線lを軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかきことができる	1(1)イ					○			○	
5(1)	三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	空間における直線と直線との位置関係(辺と辺とがねじれの位置にあること)を理解している	1(2)ア						○		○	
5(2)	四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く	四角形をその面に垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解している	1(2)イ						○		○	
5(3)	立方体の見取図を読み取り、2つの角の大きさの関係について、正しい記述を選ぶ	見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができる	1(2)イ					○		○		
5(4)	円柱の体積が600cm <sup>3</sup> のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める	円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の1/3であることを理解している	1(2)ウ						○		○	

\* 評価の観点は、数量や図形に関する技能（小学校）に対応させている。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問番号	全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所		県立広島中学校	
					呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町	三次市		庄原市
																安芸高田市	安芸太田町	北広島町								
教科全体	62.2	62.1	61.0	59.3	64.4	58.8	64.3	66.5	63.8	63.5	65.7	67.3	67.4	68.5	65.2	61.1	59.4	61.4	62.9	61.4	64.5	65.6	67.3	61.1	57.2	91.7
1 (1)	66.9	67.2	67.4	65.0	65.8	67.2	58.9	71.2	68.9	58.6	71.9	73.7	71.2	83.2	71.8	63.1	60.0	58.2	69.3	68.5	60.6	69.2	69.4	59.3	61.6	99.4
1 (2)	40.6	37.3	34.8	35.3	44.3	41.8	41.6	33.4	36.0	46.2	54.1	58.8	54.9	35.4	33.3	36.4	23.3	34.8	43.2	36.4	47.6	40.0	32.3	31.4	25.4	75.0
1 (3)	91.6	91.2	90.8	89.9	92.2	91.5	92.1	92.3	91.9	92.4	94.3	94.7	91.8	95.6	89.7	93.3	83.3	95.7	91.2	90.0	93.2	85.8	98.4	90.7	87.7	99.4
1 (4)	69.0	71.4	69.9	68.7	74.3	70.4	72.6	76.1	73.1	73.1	70.7	78.1	77.7	77.0	87.2	72.4	60.0	78.0	73.3	70.3	73.0	75.8	79.0	74.9	67.8	95.5
2 (1)	32.2	33.6	30.8	33.8	33.0	25.4	26.3	40.5	35.1	23.4	43.5	34.2	39.5	38.1	38.5	30.2	26.7	31.9	33.9	33.7	40.8	35.0	45.2	34.4	30.8	92.9
2 (2)	84.0	84.0	84.4	81.2	83.2	83.1	82.6	85.0	86.8	87.6	84.9	81.1	92.3	83.2	82.1	82.2	86.7	87.2	85.2	83.1	86.8	85.8	91.9	81.7	81.9	95.5
2 (3)	78.2	78.3	75.6	79.4	82.1	82.5	80.0	81.8	79.6	86.9	81.8	81.6	79.0	82.3	87.2	81.3	70.0	77.3	75.9	76.9	82.8	85.0	91.9	77.6	75.4	95.5
2 (4)	67.9	66.5	66.6	61.9	69.6	63.5	63.2	70.6	67.2	75.9	71.2	69.7	68.2	80.5	76.9	57.3	66.7	64.5	68.6	64.7	64.2	64.2	69.4	62.7	59.4	98.1
3 (1)	71.3	71.4	70.7	66.9	74.1	66.7	71.6	76.0	74.3	77.9	73.8	76.3	81.5	82.3	76.9	72.4	76.7	75.2	71.6	70.4	71.5	69.2	69.4	69.2	68.1	97.4
3 (2)	47.2	46.6	44.4	44.9	47.3	51.9	47.9	51.0	49.7	46.9	54.1	52.2	48.5	53.1	66.7	37.3	63.3	45.4	47.1	46.7	48.7	60.0	51.6	46.8	45.3	88.5
3 (3)	52.3	51.9	50.4	53.1	47.0	32.8	51.6	58.5	53.5	62.8	60.5	49.1	58.4	63.7	35.9	46.7	46.7	52.5	47.8	54.7	60.0	57.5	46.8	60.2	36.2	67.9
3 (4)	89.7	89.9	89.3	87.1	91.7	88.4	92.6	91.5	91.2	92.4	91.3	91.7	98.3	96.5	87.2	93.3	90.0	92.9	91.1	88.0	90.7	95.8	98.4	92.3	89.9	100.0
4 (1)	30.9	30.2	28.8	30.9	32.1	24.9	30.5	34.2	29.9	27.6	28.6	28.5	30.0	28.3	30.8	33.3	23.3	30.5	28.4	32.0	35.8	20.8	30.6	29.4	26.8	42.9
4 (2)	71.8	71.4	74.0	67.9	70.5	65.1	63.2	72.5	67.5	62.1	70.9	74.6	77.7	66.4	71.8	65.3	90.0	59.6	66.1	71.8	71.3	71.7	69.4	65.8	71.0	92.3
5 (1)	75.5	78.9	76.2	78.9	82.0	71.4	79.5	82.8	80.3	87.6	79.9	86.4	86.7	89.4	84.6	79.1	80.0	86.5	78.5	79.2	87.0	83.3	85.5	76.9	78.6	99.4
5 (2)	74.0	75.4	71.4	77.6	80.0	75.7	70.0	82.1	74.8	74.5	81.1	80.7	72.5	83.2	76.9	75.6	80.0	82.3	75.5	72.9	85.4	75.8	80.6	79.9	78.3	96.2
5 (3)	78.8	78.5	77.4	76.8	80.2	75.1	81.6	83.2	79.8	77.2	80.9	77.2	78.1	85.8	76.9	80.0	66.7	74.5	77.1	79.2	78.3	82.5	82.3	80.3	80.8	98.1
5 (4)	49.9	52.0	46.7	52.2	57.1	59.3	59.5	62.7	53.5	57.2	60.0	50.9	60.5	82.3	53.8	54.7	56.7	37.6	53.6	49.9	63.9	65.8	72.6	48.4	46.7	99.4

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	広島県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	広島県（公立）	全国（公立）
		239		9,461	

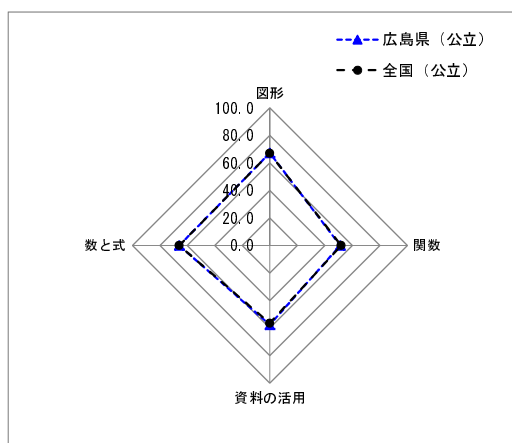
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）	
			広島県（公立）	全国（公立）
全体		36	62.1	62.2
学習指導要領の領域	数と式	12	65.8	65.9
	図形	12	67.2	67.1
	関数	8	51.3	52.0
	資料の活用	4	57.8	56.5
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	0		
	数学的な技能	19	66.8	66.9
	数量や図形などについての知識・理解	17	57.0	56.8
問題形式	選択式	13	57.4	57.8
	短答式	23	64.8	64.6
	記述式	0		

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別市町別平均正答率一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式
6(1)	平行線や角の性質を用いて∠APBの大きさを求める	平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる		2(1) ア					○			○
6(2)	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	多角形の外角の和の性質を理解している		2(1) イ					○		○	
7(1)	△ABCと△DEFが合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	三角形の合同条件を理解している		2(2) ア					○		○	
7(2)	ひし形の対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表す	ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことができる		2(2) イ、ウ				○				○
7(3)	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	命題の逆を理解している		2(2) イ					○			○
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ	証明の必要性和意味を理解している		2(2) イ、ウ					○		○	
9(1)	比例の表を完成させる	比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる			1(1) エ			○				○
9(2)	比例 y = 2x について、x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	比例の式について、x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる			1(1) エ			○				○
9(3)	反比例を表した事象を選ぶ	具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している			1(1) イ				○		○	
9(4)	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から、x と y の関係を式で表すことができる			1(1) エ			○				○
10(1)	一次関数の表からグラフを選ぶ	一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している			2(1) イ				○		○	
10(2)	一次関数の式から変化の割合を求める	一次関数 y = ax + b について、変化の割合が一定で a の値に等しいことを理解している			2(1) イ				○			○
10(3)	一次関数のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求める	一次関数のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求めることができる			2(1) イ				○			○
11	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことができる			2(1) ア				○			○
12(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる			1(1) ア				○			○
12(2)	ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ	測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している			1(1) イ				○		○	
13(1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解している			2(1) ア				○		○	
13(2)	1から13までの数字が書かれた13枚のカードから5または11のカードをひく確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる			2(1) ア				○			○

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問番号	全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所	県立広島中学校		
					呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町		三次市	庄原市
																安芸高田市	安芸太田町	北広島町								
教科全体	62.2	62.1	61.0	59.3	64.4	58.8	64.3	66.5	63.8	63.5	65.7	67.3	67.4	68.5	65.2	61.1	59.4	61.4	62.9	61.4	64.5	65.6	67.3	61.1	57.2	91.7
6(1)	74.8	73.0	73.7	66.0	75.7	69.8	81.1	76.8	73.7	73.1	76.1	77.2	81.1	83.2	74.4	71.1	76.7	71.6	76.5	73.3	72.7	74.2	72.6	73.1	63.8	96.8
6(2)	69.3	68.2	68.1	63.2	69.2	59.8	74.7	74.6	74.8	69.7	75.2	74.1	73.4	76.1	71.8	60.0	63.3	68.1	66.4	65.0	68.2	70.8	71.0	66.3	60.1	97.4
7(1)	70.8	69.7	68.4	64.9	73.1	66.1	72.6	76.7	72.4	72.4	72.8	77.6	79.4	77.9	84.6	60.9	76.7	70.9	71.6	70.0	68.2	71.7	83.9	69.7	64.9	99.4
7(2)	74.7	76.2	74.2	71.3	80.4	70.4	83.7	82.9	76.8	84.1	76.8	83.3	77.7	72.6	71.8	76.4	60.0	76.6	81.7	78.8	82.0	77.5	90.3	80.3	79.7	98.1
7(3)	72.3	70.4	72.4	66.9	70.5	66.7	68.9	71.9	70.3	70.3	67.1	68.0	76.0	60.2	64.1	69.3	70.0	75.2	70.5	64.9	68.5	75.8	79.0	69.5	60.9	86.5
8	61.9	62.7	62.2	57.7	64.3	57.1	62.1	68.7	65.3	66.2	66.4	64.5	64.8	71.7	69.2	67.1	66.7	69.5	62.4	60.6	66.5	77.5	74.2	62.4	61.2	84.0
9(1)	87.9	87.6	86.7	87.3	89.5	85.2	87.4	88.6	87.5	89.0	90.8	88.6	94.0	93.8	84.6	88.4	76.7	85.8	90.6	86.0	89.3	85.0	93.5	84.2	88.0	98.1
9(2)	39.4	36.3	37.0	29.4	38.5	28.0	54.7	38.7	39.2	40.7	35.7	36.0	45.1	45.1	33.3	32.4	36.7	22.7	35.2	36.2	39.2	47.5	29.0	35.1	26.4	87.8
9(3)	42.0	40.8	41.0	35.5	43.4	32.3	42.6	46.1	43.7	35.2	39.0	51.8	41.2	38.1	43.6	39.6	50.0	36.2	37.6	39.5	47.0	41.7	38.7	38.9	33.3	92.3
9(4)	34.5	35.4	32.9	30.5	40.9	34.4	41.6	43.2	40.0	38.6	33.3	54.8	46.4	43.4	56.4	38.2	23.3	30.5	31.1	36.5	39.2	35.8	40.3	35.5	30.4	92.3
10(1)	61.9	62.8	60.9	58.8	66.0	58.7	75.8	65.0	66.7	57.9	70.9	71.1	71.2	61.1	71.8	74.2	60.0	62.4	66.1	62.1	67.0	66.7	64.5	63.1	62.0	96.8
10(2)	54.6	52.1	49.9	43.2	59.2	52.4	64.2	64.8	55.9	60.0	63.4	73.7	63.9	61.9	59.0	51.6	46.7	50.4	54.2	48.8	56.1	54.2	61.3	49.8	34.1	92.9
10(3)	43.0	44.3	42.8	38.1	48.9	37.0	54.2	51.8	43.1	37.9	52.5	58.3	53.6	58.4	46.2	50.2	43.3	41.1	49.3	44.9	41.4	51.7	46.8	43.0	34.1	90.4
11	53.0	50.8	49.8	47.8	53.4	43.9	52.1	56.2	57.4	49.0	56.7	50.4	49.4	59.3	51.3	48.9	30.0	37.6	56.5	47.7	46.5	47.5	58.1	48.2	39.1	95.5
12(1)	45.5	50.0	44.8	50.6	55.3	49.2	60.0	55.1	56.2	62.8	45.6	70.2	60.9	61.9	66.7	45.8	53.3	64.5	49.3	48.8	56.6	68.3	75.8	49.5	43.8	97.4
12(2)	34.7	33.0	33.8	31.8	31.8	33.9	27.4	37.7	27.3	21.4	34.5	34.6	28.3	27.4	23.1	29.8	23.3	32.6	30.7	34.5	32.1	28.3	33.9	27.1	29.3	71.2
13(1)	66.0	67.0	69.2	64.4	65.3	57.7	61.1	66.8	68.0	60.0	70.0	61.8	65.7	79.6	64.1	59.1	60.0	60.3	70.9	64.8	56.6	81.7	58.1	63.3	58.3	92.9
13(2)	79.6	81.1	80.4	76.6	85.2	77.8	84.2	82.7	84.0	86.9	84.2	88.2	88.8	86.7	84.6	83.1	70.0	88.7	84.7	80.0	82.0	84.2	88.7	78.3	76.8	98.7

設問別調査結果 [数学B：主として活用]

広島県一生徒（公立）

以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	広島県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	広島県（公立）	全国（公立）
	239	9,460		22,257	996,578

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			広島県（公立）	全国（公立）	
全体			15	44.8	44.1
学習指導要領の領域	数と式	6	51.4	51.5	
	図形	2	33.9	33.3	
	関数	5	41.2	41.4	
	資料の活用	2	44.7	39.3	
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	11	39.4	38.9	
	数学的な技能	4	59.4	58.5	
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	2	39.3	41.3	
	短答式	6	58.2	57.8	
	記述式	7	34.8	33.1	

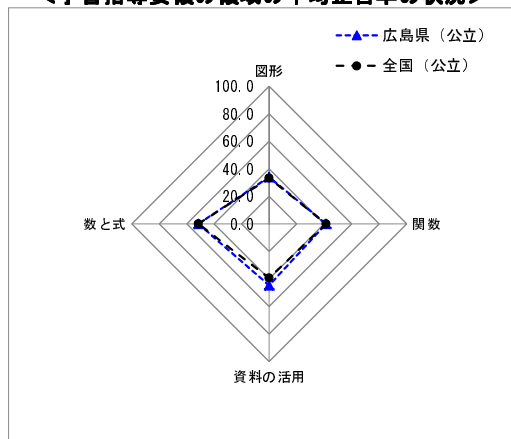
※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別市町別平均正答率一覧

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式
1(1)	1試合の時間を16分とすると、1回の休憩の時間を求める	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	1(3)ウ					○				○	
1(2)	葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる	1(3)ウ					○				○	
1(3)	1試合の時間を10分とすることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する	適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる	1(3)ウ					○					○
2(1)	一次関数の表からx=4のときのyの値を求める	条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることができる			2(1)イ			○				○	
2(2)	x=4のときy=9になるように、xとyの間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する	加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる			1(1)エ			○					○
3(1)	A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、的確に処理することができる			2(1)イ、エ			○				○	
3(2)	B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ	グラフの傾きを事象に即して解釈することができる			2(1)イ、エ			○			○		
3(3)	A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2(1)イ、エ			○					○
4(1)	2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる		2(2)イ、ウ				○					○
4(2)	DA:DC=1:2のときの△DECがどのような三角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる		2(2)ウ				○					○
5(1)	24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1)イ			○					○
5(2)	25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数学的に表現することができる			1(1)イ			○				○	
6(1)	最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	小4(4)					○*				○	
6(2)	文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する	与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる	2(1)イ、ウ					○					○
6(3)	当てる方法を変えると、新しい数当てゲームの手順について当てはまる言葉を選ぶ	計算の過程を振り返って考え、数当てゲームの新しい手順を完成することができる	2(1)ウ					○			○		

\* 評価の観点は、数量や図形に関する技能（小学校）に対応させている。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



設問番号	全国	広島県	広島市	福山市	西部教育事務所													東部教育事務所					北部教育事務所	県立広島中学校		
					呉市	竹原市	大竹市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	大崎上島町	芸北支所			三原市	尾道市	府中市	世羅町	神石高原町		三次市	庄原市
																安芸高田市	安芸太田町	北広島町								
教科全体	44.1	44.8	43.2	41.9	47.1	40.8	46.4	49.4	47.6	45.7	47.9	51.5	50.6	54.2	46.0	44.2	44.4	41.4	46.9	42.8	47.4	50.1	50.2	45.1	41.9	84.1
1 (1)	79.3	78.9	78.5	76.4	81.5	76.2	80.0	82.1	80.8	81.4	78.7	80.7	84.2	85.0	84.6	76.9	86.7	76.6	81.0	75.3	79.8	78.3	80.6	80.4	76.1	94.9
1 (2)	33.4	32.7	31.9	29.6	34.1	29.1	28.9	36.9	36.0	35.2	33.1	39.0	32.1	47.8	17.9	30.7	30.0	24.1	33.4	31.0	31.7	40.8	40.3	28.4	27.9	91.7
1 (3)	51.4	54.0	53.6	49.0	54.5	49.2	55.8	58.9	56.0	57.2	58.6	63.6	65.0	64.6	59.0	57.8	43.3	50.4	52.9	52.9	56.7	62.5	67.7	52.6	50.0	88.5
2 (1)	59.1	55.3	55.5	53.2	58.2	48.1	58.9	53.5	60.5	54.5	54.6	56.6	61.1	46.9	46.2	55.1	50.0	55.3	57.8	51.9	51.1	65.0	53.2	60.3	48.6	73.7
2 (2)	20.6	23.1	21.0	21.2	26.6	19.6	28.4	27.3	25.0	22.1	22.7	37.7	31.2	42.5	33.3	24.0	30.0	15.6	20.9	22.4	25.8	22.5	21.0	15.8	20.7	84.6
3 (1)	67.4	68.8	68.4	63.6	70.5	66.1	65.3	73.7	71.4	70.3	74.0	71.9	76.1	76.1	74.4	70.7	80.0	67.4	71.0	69.1	67.7	68.3	75.8	68.4	63.8	95.5
3 (2)	29.8	27.3	26.3	27.0	30.3	20.1	23.7	30.2	26.5	29.0	29.3	25.0	28.2	20.4	35.9	20.4	23.3	20.6	27.2	27.1	34.8	30.0	11.3	29.3	25.7	45.5
3 (3)	30.3	31.6	24.9	30.1	38.4	27.0	36.3	39.6	42.2	35.2	46.1	43.4	46.2	45.1	41.0	34.7	30.0	29.8	36.6	31.4	32.3	40.0	50.0	36.6	35.1	85.3
4 (1)	29.4	27.4	29.2	21.5	26.7	15.9	40.0	30.6	27.8	19.3	27.9	34.2	35.0	39.8	25.6	18.7	23.3	17.7	28.2	25.8	31.2	25.0	22.6	24.4	16.7	72.4
4 (2)	37.3	40.3	38.1	35.7	42.1	34.9	34.2	47.1	46.0	45.5	47.3	51.3	51.7	54.0	43.6	44.0	36.7	36.2	45.8	40.3	37.1	51.7	53.2	39.1	35.1	84.6
5 (1)	47.6	52.6	48.4	53.7	55.8	49.7	55.8	58.5	54.6	54.5	55.6	60.5	62.4	76.1	48.7	51.6	56.7	53.2	57.1	48.0	61.2	59.2	69.4	56.9	47.8	85.3
5 (2)	31.1	36.8	32.0	32.4	41.2	39.7	48.9	51.6	37.1	38.6	39.5	48.2	35.9	50.4	41.0	42.2	43.3	39.7	40.9	32.2	50.6	50.0	58.1	45.6	38.0	93.6
6 (1)	76.4	76.8	75.7	73.3	78.7	75.7	78.9	79.6	80.0	84.1	77.1	89.5	79.9	84.1	82.1	76.4	73.3	75.9	80.7	73.0	80.3	86.7	82.3	78.1	80.8	97.4
6 (2)	15.4	14.6	13.6	13.7	15.2	10.1	10.5	17.5	16.7	11.0	18.0	17.5	17.5	15.9	12.8	11.6	3.3	8.5	15.6	13.1	14.0	15.0	22.6	12.4	12.0	75.6
6 (3)	52.9	51.4	50.9	48.3	52.7	50.8	50.5	54.1	53.1	46.9	56.3	53.1	53.0	63.7	43.6	48.4	56.7	49.6	54.8	48.0	55.9	56.7	45.2	47.9	50.0	92.9